

明倫の里 城北

未来へ向けたまちづくり

Ⅲ



城北コミュニティ



新しい元号が令和となりました。現在、日本は少子高齢化や人口減少が進み、城北校区も空き家が目立っています。住み慣れた地域で、誰もが安心・安全な生活を送るためにも、地域社会の充実が必要です。城北コミュニティ「明倫の里 城北」は平成10年5月に設立し、一昨年に20周年を迎えました。地域の活性化を願って毎年、「城北明倫まつり」や「ほくほくふれあいまつり」を開催。多くの方たちの参加を頂き、地区の活性化につながっています。まちづくりの将来ビジョンとして、平成23年5月より「まちづくり5か年計画」を策定。今回、「未来に向けたまちづくりⅢ」を作成しました。より住みよい良いまちを目指し、多くの皆さんと協力し、コミュニティ活動に取り組んでまいります。「まちづくり」は地域住民のご理解がなければ前に進めることはできません。皆さんの協力をお願いいたします。

- 《活動目標》
- 1 地域の高齢化に伴う社会福祉の充実
 - 2 防災・防犯対策の充実
 - 3 環境美化への意識向上
 - 4 健康づくり運動の推進
 - 5 学校支援ボランティアの充実
 - 6 教育文化活動と生涯学習の推進
 - 7 生活改善及び保健栄養意識の向上
 - 8 自治会の加入促進とコミュニティ活動への参加
 - 9 地域情報の伝達と広報活動の充実
 - 10 関係機関・諸団体との連携調整及び相互協力

「明倫の里 城北」
会長 砂本 健

明倫の里 城北

城北コミュニティは「明倫の里 城北」が正式名称です。丸亀藩5代藩主・京極高中公が藩校正明館に与えた自筆の「明倫」



明倫の額

の扁額が城北小学校に伝えられ、コミュニティの扁額に由来しています。明治初めの丸亀には風袋町の「敬止堂」をはじめ、私塾や寺子屋などが二十数校があったといわれます。約10校が、この地域にあり、藩政時代から明治時代まで城北地区が「明倫の里」だったことが分かります。私たちはこの伝統を受け継ぎ、次代に引き継がなければなりません。

「明倫」とは、孟子の滕分公章句にある言葉で、「人間として成長するには先ず教育が大切であり、そのために学校を設け、人倫を明らかにして学ぶことが肝要」との意味です。「明倫」の扁額は正明館、明倫館を経て丸亀郷校、第一小学校、亀湾小学校、そして城北小学校に受け継がれてきました。平成27年3月、新しい校舎が完成しましたが、「明倫」の精神は今も同校に掲げられ、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

この精神が次の世代、その次の世代の児童の心に生き続けることを願わずにはられません。そんな子どもたちの安全安心な学校生活を、私たち大人がサポートしていきたいと思います。「城北地区で生まれ、育ってよかった」。将来にわたって、みんなの明るい笑顔に出会えることが、城北地区に住む私たちの願いではないでしょうか。



「明倫の里 城北」の看板



城北コミュニティ「明倫の里 城北」

I 概要

城北地区の歩み・戦後の出来事	6
人口構成及び人口動態	9

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

II まちづくりのプラン

各分科会のまちづくり実行計画

【総務分科会】地域住民と「ふれあい」「活性化」	12
【環境分科会】ごみ不法投棄防止や子どもと地域の安全力向上	14
【福祉分科会】みんなで見守り、助け合う「安心・安全・幸せな」まちづくり	16
【保健分科会】健やかな心とからだでいきいき生活	18
【文化分科会】文化的活動で知識の向上と地域の活性化	20
【広報分科会】地域の人々への情報の伝達とコミュニティ活動の周知	22
【体育分科会】運動やスポーツで「豊かな心」と「健康な身体」	24
【自主防災会】地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚	26
【城北婦人会】女性の和と輪をもって地域に根ざす	28
【城北老人クラブ連合会】健康寿命をのばし 担う地域づくり	29
城北地区まちづくり計画Ⅲ策定委員会組織図	30
コミュニティ「明倫の里 城北」構成団体	31

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

I 概要

城北地区の歩み・戦後の出来事

西暦	年号	
1945年	昭和20年	<p>終戦（8月）</p> <p>旧西練兵場で兵器等の処理中に爆発事故発生。1人死亡、十数人負傷。土居町や風袋町、葭町、瓦町などで爆風被害（11月）</p> <p>現在の城東町にあった旧東練兵場で開墾始まる</p>
1946年	昭和21年	<p>米屋町商工会館に国の四国地方商工局誘致（6月）</p> <p>南海大地震発生（11月）</p>
1947年	昭和22年	<p>消防団誕生（8月）</p>
1949年	昭和24年	<p>土器川河口近くに国道11号線の蓬萊橋開通（6月）</p>
1950年	昭和25年	<p>金子正則氏（城北小学校卒）が県知事に就任。6期24年にわたって県政を担当（9月）</p>
1951年	昭和26年	<p>東中学校開校（4月）</p>
1952年	昭和27年	<p>平山保育所開設（4月）</p> <p>丸亀競艇場でボートレース開始（10月）</p>
1953年	昭和28年	<p>土居保育所開設（10月）</p>
1955年	昭和30年	<p>城北幼稚園開園。東幼稚園の分園から独立（3月）</p>
1956年	昭和31年	<p>香川労災病院が診療開始（4月）</p>
1959年	昭和34年	<p>丸亀税務署（御供所町）が大手町の現庁舎に移転（4月）</p>
1963年	昭和38年	<p>琴参電車が廃止。土居町の坂出線・渡場駅も役目終える（9月）</p>
1964年	昭和39年	<p>丸亀市内の電話がダイヤル式に変換（10月）</p>
1966年	昭和41年	<p>琴参電車軌道跡を利用、蓬萊橋が県内で初めて4車線の複線橋に（9月）</p>



城東町開墾地での田植に集まった人たち



廃止を前に全線で走った琴参の花電車

西暦	年号	
1968年	昭和43年	<p>予讃線高松～多度津間の無煙化で蒸気機関車姿消す（4月）</p> <p>2級河川の土器川が国管理の1級河川に（4月）</p>
1971年	昭和46年	<p>フェリー通り（丸亀港線）が市道から県道、県道の通町商店街（通町線）が市道に</p>
1972年	昭和47年	<p>城北地区でも都市ガス供給エリア拡大</p>
1978年	昭和53年	<p>「東汐入川緑道公園」開園（3月）</p> <p>土器川潮止せき完成（3月）</p>
1984年	昭和59年	<p>県立丸亀病院が北平山町から土器町へ移転（2月）</p> <p>県道33号高松善通寺線・京極通りの整備進む</p> <p>県道203号丸亀港線・通称フェリー通りも</p>
1987年	昭和62年	<p>城北小学校創立100周年記念式典（5月）</p>
1988年	昭和63年	<p>新丸亀駅開業（3月）</p> <p>瀬戸大橋開通（4月）</p> <p>さぬき浜街道が暫定2車線で全線供用開始（11月）</p>
1989年	平成元年	<p>元号が「昭和」から「平成」へ（1月）</p> <p>CVC中讃ケーブルビジョンが放送開始（11月）</p>
1991年	平成3年	<p>城北地区の下水道整備完成（3月）</p> <p>猪熊弦一郎画伯の画業をたたえ、地域の美術振興などを目的にした丸亀市猪熊弦一郎現代美術館オープン（11月）</p>
1993年	平成5年	<p>予讃線高松～多度津間が複線電化に。丸亀駅周辺高架事業で城北地区の全踏切を撤去（9月）</p>
1995年	平成7年	<p>阪神淡路大震災発生。丸亀は震度3（1月）</p>
1998年	平成10年	<p>城北コミュニティ発足（5月）</p>



旧丸亀駅舎

西暦	年号	
1999年	平成11年	城北コミュニティセンター開設（10月） 丸亀東映（魚屋町）の閉館で市内から映画館が姿消す
2004年	平成16年	台風16号による高潮で富士見町、御供所町で住宅など浸水（8月）
2007年	平成19年	丸亀市消防団第1分団屯所、瓦町から御供所町に新築移転（4月）
2009年	平成21年	丸亀競艇「ブルーナイター」スタート。夜間開催は中四国の公営競技場で初（4月）
2011年	平成23年	東日本大震災発生（3月）
2014年	平成26年	さぬき浜街道土器川大橋西詰～港町間の4車線化が完成（3月）
2015年	平成27年	城北小学校新校舎完成（3月） 終戦70周年・丸亀市非核平和都市宣言10周年を記念し、緑道公園に被爆樹木二世のアオギリとクスノキを植樹（8月）
2017年	平成29年	通学路上に歩道橋が3橋完成（3月） さぬき浜街道（H26.3月） 富士見町（H28.10月） 土居町渡し場（H29.3月）
2018年	平成30年	「東汐入川けんこう公園」開園（4月） 「丸亀城」の石垣が崩落（10月）
2019年	平成31年	城北幼稚園閉園（3月） 平山保育所の「城北こども園」への移行（4月）
2019年	令和元年	元号が「平成」から「令和」へ（5月）



東汐入川けんこう公園

人口構成及び人口動態

令和2年1月1日現在の住民基本台帳による丸亀市全体の総人口は、平成27年1月1日の11万3481人から4134人減っています。城北地区も6715人から5309人に減少しており、市中心部や周辺地域で人口空洞化が進んでいます。

世帯数をみると、市全体では平成27年に4万8455世帯だったのが、令和2年には4万5349世帯に減少しています。城北地区では、3315世帯から796世帯少ない2519世帯に減少しています。

夫婦世帯と子ども世帯という家族構成が崩れ、子ども世代の地区外流出で夫婦のみの世帯が増え、親世帯の高齢化や独居化（単身化）、介護施設の転居などで、空き家や空き地が目立っています。

丸亀市をみても、年少人口（0～14歳）の減少が続いています。現在、日本全体が人口減少社会に突入し、深刻な問題となっており、丸亀市も、全国と同様に少子高齢化が進み、人口減少に歯止めをかけるための施策が、最大の急務となっています。

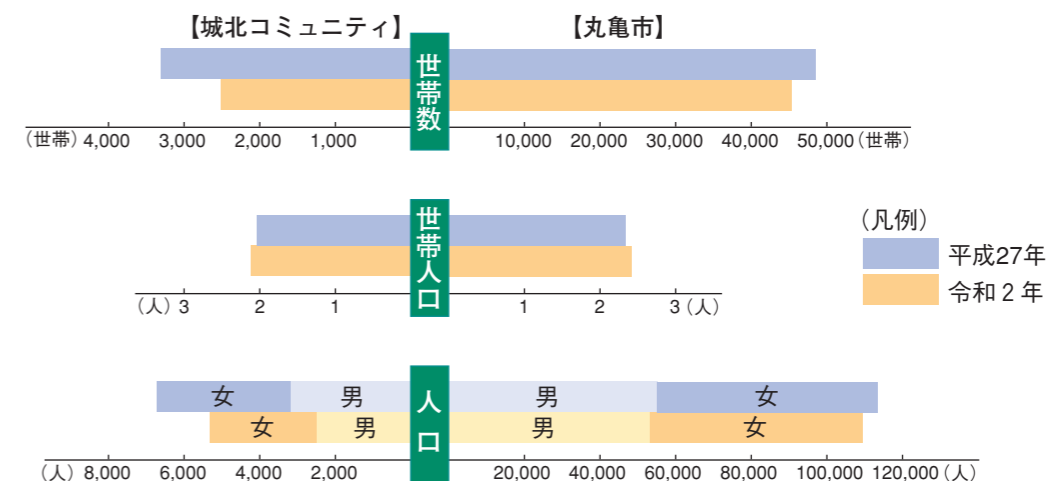
●世帯数と人口

城北コミュニティ

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
平成27年	3,315	2.03	6,715	3,190	3,525
令和2年	2,519	2.11	5,309	2,499	2,810
対比	△796	1.77	△1,406	△691	△715

丸亀市

	世帯数	世帯人口	人口	男	女
平成27年	48,455	2.34	113,481	55,173	58,308
令和2年	45,349	2.41	109,347	53,056	56,291
対比	△3,106	1.33	△4,134	△2,117	△2,017



城北コミュニティ「明倫の里 城北」
Ⅱ まちづくりのプラン



地域住民と「ふれあい」「活性化」

総務分科会

平成22年度にスタートした〈まちづくり5か年計画〉も今回で3回目となりました。成果があったもの、見直しが必要なもの様々です。誰もが安心して住みたくなるまちを目指し、住民との「ふれあい」「活性化」を進めるため、これからも「ほくほくふれあいまつり」、「城北明倫まつり」「全体研修会」「学校支援への協力」を地域の重点施策として取り組みます。

(1) まつりなど地域活動の見直しと活性化

地域に「誇れるまつり」「また来たくなるまつり」を目指すには、いわゆる目玉となる「まつりのメイン行事」が必要ではないでしょうか。住民の皆さんの意見も参考に見直しを進めます。学校支援は城北小学校、PTA、地域が協力して子育てするために必要であり、積極的に取り組みます。

- *各まつり終了後、まつり実行委員会で協議し、「地域で誇れるまつり」「皆がまた来たくなるまつり」の観点から「まつりの中心行事」をつくります。
- *一般住民がゆっくり見て参加できる観覧席を設けます。(ほくほくふれあいまつり)
- *小学生の作品を募集し、明倫まつりで優秀作品を展示、親子同伴で表彰します。



明倫まつり

(2) 安心して住める町へ

安心安全なまちづくりとして、通学時の交通事故防止に努め、防犯対策では、環境部会を中心に見張りや見回りを実施し、効果を上げています。

一方、北平山町にあったスーパーマーケットが平成27年に閉店し、住民の高齢化がさらに進む中、買い物支援への必要性が増していますが、〈安心して住めるまち〉でなくなっているのが現状です。市長懇談会に議題として出していますが、具体的な回答はありません。今年9月の市議会でも取り上げられており、コミュニティバスの現状調査、運行ルートなどの見直し、今後の対策などについて、市長に回答を求めています。

我々も部会横断の特別委員会を立ち上げ、市へのアプローチを強化し、安心して住める町づくりに向けた打開策を探ります。



全体研修会

(3) コミュニティ代議員の補充急務

地域の高齢化が進む中、コミュニティの代議員の補充が急がれます。まず年代別、男女別の現状を整理し、5年先を見据えて各部会・各自治会・PTAで人材の発掘や確保に務めます。PTA役員との意見交換会を継続して実施し、まつり、学校支援、PTCA等の共通課題について協議を進めます。

【総務分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現 状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
地域住民とのふれあい活性化	皆がまた来たくなる〈ほくほくふれあいまつり〉	前年度を踏襲	まつりの実行委員会を開催、まつりの中心行事をつくる	中心行事を見直す	➡
	地域に誇れる〈城北明倫まつり〉	小学生の作品を募集し展示する	小学生の作品を募集と優秀作品表彰	➡	➡
買い物支援	安心安全な町	・市長懇談会に議題で提出 ・市議会でも取り上げている	・特別委員会立ち上げ ・コミュニティバスの見直し ・買い物・通院の専用バス運航検討	買い物・通院の専用バス試験運行要請	買い物・通院の専用バス運行要請
代議員の補強	コミュニティの継続	代議員の高齢化と活動に住民不参加増加	現状を整理し自治会、PTAに協力要請	自治会、PTAからの推薦確保	➡



ほくほくふれあいまつり



ごみ不法投棄防止や子どもと地域の安全力向上

環境分科会

環境部会は、地域の生活環境全般について考え、清潔できれいなまち・犯罪や事故のない安全で安心な地域づくりのために活動しています。第三次まちづくり計画では、これまでの「不法投棄ゼロ化推進」と防犯パトロールを強化した「子どもと地域の安全力向上」の二本柱を継続して掲げました。地域として〈地球温暖化防止〉に今後も取り組んでまいります。

(1) 「不法投棄ゼロ化推進」

①現状

- *これまで、ごみの不法投棄をなくす活動に取り組んできました。
- *残念ながら土器川護岸など人目につきにくい場所では、現在も不法投棄が続き、ごみの回収日ではない時に、ごみの投棄や盗難自転車の放置が見られます。
- *10月第1金曜日に、土居保育所・城北こども園・城北小学校の園児や児童と「東汐入川緑道公園の清掃活動」を実施しています。

②今後の取り組み

- *地域環境の美化促進が犯罪等の抑止に果たす役割は大きいと思います。環境部会員による見回り活動で不法投棄などを発見した場合や、自治会を通じて情報の提供を受けた時は、市の担当部局に連絡、撤去するよう依頼します。
- *東汐入川緑道公園や土器川河川敷での清掃活動を継続します。
- *環境部会員一人ひとりが日頃から環境美化に留意し、収集した情報を活用し、清潔できれいなまちづくりを推進します。



緑道公園清掃

(2) 防犯パトロール隊の再編成と子どもや地域の安全力向上

①現状

- *通学路を重点に、地域内のいろいろな場所で子どもの安全を見守っており、近年、不審者情報は少なくなっています。
- *自転車プレートを城北小学校の全保護者に配布し、地域の皆で子どもたちと地域の安全を見守る体制づくりを進めています。
- *若い人の参加が少なく、パトロール隊の存続に危機感をもっています。



パトロール隊対面式

②今後の取り組み

- *隊員の高齢化により、広範囲を移動しながらのパトロールは年々厳しくなっています。地域全体に呼びかけて若い隊員の確保に努めます。
- *自転車プレートを活用したパトロール活動の輪を広げていきます。
- *痛ましい事故や事件に子どもたちが巻き込まれることのないよう、地域全体の防犯力の向上をめざして、危険な場所・安全な場所について考える「地域安全マップづくり」に取り組めます。
- *地球温暖化防止活動の一環で緑のカーテンづくり。



パットシート

【環境分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
ごみの「不法投棄ゼロ化推進」	不法投棄場所特定など情報収集と地図化	不法投棄情報の収集が不十分	環境部会員、自治会などへの聞き取りや情報収集。市担当部局と連携、ごみ撤去	➡	➡
パトロール隊の再編成	自転車プレート配布による学校・PTAとの連携強化	小学生がいる全世帯への自転車プレート配布	新入学児童の保護者らに自転車プレート配布、協力要請	若年層へのパトロール隊参加の呼びかけ強化	➡
その他の活動	地域全体の防犯力向上をめざした「城北地域安全マップづくり」	道路や公園、遊び場など安全への課題の把握が不十分	全国の先進事例を参考に、地域安全マップづくりのマニュアルを作成	マニュアルに基づき、地区ごとに地域安全マップを作成	地域安全マップで、住民への安全な場所の周知



みんなで見守り、助け合う「安心・安全・幸せな」まちづくり

福祉分科会

地域の皆さんが一丸となり、誰もが「安心して、安全に、幸せに」生活できるまちをめざして、多くの方々と連携しながら活動しています。

(1) 高齢者対策

①現状

- * 城北地区の高齢化率（65歳以上の人口比率）は33.3%（令和2年1月1日現在）で丸亀市全体の27.9%を大きく上回り、対策が緊急の課題となっています。
- * 認知症や介護を要する高齢者を高齢者が介護するという、いわゆる「老々介護」の状態が徐々に増えています。
- * 平成27年度から、他地域に先駆けて認知症対策のための研究や模擬訓練等の具体的な実践を進めています。



認知症訓練

②今後の取り組み

- * 行政や他組織との継続的な連携を図り、高齢者世帯など支援を必要としている方の実態把握に努め、効果的な活動を進めていきます。
- * 介護支援事業の一環として「専門的な技術を持つ組織」や団体等と連携し、サポート体制の充実に努めます。
- * 城北コミュニティの他部門や老人クラブなど他組織との連携をさらに強化します。



介護教室

(2) 障がい者対策

①現状

- * 制度上、実態把握が不十分。

②今後の取り組み

- * 障がい者や家族との信頼関係を構築するなど、現体制で出来る活動方法を検討します。
- * 行政・関係団体との情報交換を進めます。



ヤクルト支給

(3) 児童福祉対策

①現状

- * 個人情報保護の観点から情報入手は困難であり、主任児童委員や他組織の方々に頼っているのが現状です。
- * 児童を取り巻く環境が悪化している中、不審情報や他地域での悪質事例も見られ、地域ぐるみでの見守りの必要性が高まっています。

②今後の取り組み

- * 高齢者の方と児童との交流制度を継続・強化します。
- * パトロール隊との連携を強化し、〈声かけ〉〈見守り〉など、児童の安全確保を図ります。
- * 学校・地域・老人会等の行事と積極的に連携し、児童・保護者の支援に努めます。

【福祉分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
高齢者福祉対策	①高齢者世帯の支援	情報が少なく活動が不十分	・情報入手に努め活動を活発化	➡	➡
	②認知症の方がいる家庭・地域の支援	情報が少なく活動が不十分	・行政などと連携した実態の把握と支援活動	・把握情報により支援活動の強化	・活動の定着化を図る
	③介護支援事業の推進	介護専門事業との連携	・介護専門事業への参加促進	➡	➡
障がい者福祉対策	支援体制の構築	制度上、実態把握が不十分	・行政、関係団体との連携による情報収集	➡	➡
児童福祉対策	①パトロール隊活動に協力	➡	➡	➡	➡
	②地域と児童との交流	一人住まい高齢者と児童の手紙交流	➡	➡	➡
	③他組織との連携による活動	高齢者との「むかし遊び」等	➡	➡	➡



健やかな心とからだでいきいき生活

保健分科会

健康に関心を持ち、いきいきと暮らす三つの目標を定めて活動したり、健康ポイント制を活用したりして、地域ぐるみで健康づくりに取り組みます。

(1) 健康に関心を持ち、必要な検診を受け、健康状態を把握

〈各種がん検診や特定健診などの受診、健康相談参加の声かけ〉

①現状

* 健康教室や愛育だよりで受診を呼びかけ。受診率は市平均を下回っています。

②今後の取り組み

* 健診の受診や健康相談への参加を今まで以上に呼びかけます。

(2) よい生活習慣を身につける

〈料理教室〉

①現状

* 食生活改善推進員を中心に活動。計画策定や参加者を募集しています。

* 参加者は減少気味で、毎回30人参加。親子料理は子どもだけが増えています。



子ども料理教室

②今後の取り組み

* 料理教室は常に男女が参加し、世代間交流や郷土料理も考えていきます。

* 子どもだけの参加の人数を増やし、三世代交流や食育も行っていきます。

〈わいわい教室・健康教室・フットセラピー〉

①現状

* 少しずつ新しい人が参加するようになってきましたが、男性は少ないです。

②今後の取り組み

* 今後、男性が参加しやすい事業を検討します。

(3) 家族や地域の人とのつながりを大切に

〈運動のコツ体験教室〉 〈三世代交流昔遊び〉

①現状

* 愛育班会員らが小学生らに声かけ。逆上がりや速く走るコツを体験。地域の人と昔遊びのおもちゃを使って交流しました。

②今後の取り組み

* 今後も年1回、体験教室を開催。三世代交流昔遊びは未就学児に参加を呼びかけます。



三世代交流

〈健康ポイント制〉

①現状

* 5年目を迎え、文化部会・福祉部会との協力で、各事業への参加が増える一方、ポイントを集める、集めないで温度差は大きい。

②今後の取り組み

* ポイント対象を増やし、ボランティア活動にもポイント付与していきます。

〈愛育班活動〉

①現状

* 若い世代の入会が減り、高齢者や男性の入会が増え、行事に子や孫と一緒に参加する人も多い。

②今後の取り組み

* 声かけの和を広げ、毎月発行の愛育だよりで行事や健康情報などを発信します。



クリスマス会

【保健分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）				
		現状	令和2年度	3・4年度	5・6年度	
健診を受けて自分の身体の状態を知る	各種がん検診・特定健診等の受診声かけ	平成30年受診率 特定 27.1% 肺がん 8.4% 胃がん 4.5% 大腸がん12.3% 歯周疾患15.5%	声かけ推進 特 → 肺 → 胃 → 大 → 歯 →	特 → 肺 → 胃 → 大 → 歯 →	特 31% 肺 13% 胃 7% 大 15% 歯 19%	
		町別健康相談（9か所）	回覧周知	受診の声かけ推進	→	→
		保健師の健康相談	第2金曜9:30~11:30	受診等声かけ推進	→	→
よい生活習慣を身につけ、家族や地域とのつながりを大切にする	料理教室	一般4回、親子2回、男性1回	男性の参加を呼びかけ	→	→	
	わいわい教室	第3火曜日13:30~	事業を知らない人に対して声かけの推進	→	→	
	健康教室	年4回		→	→	
	フットセラピー	年2回	→	→		
	運動のコツ体験教室	年1回愛育班が声かけ	声かけの推進	→	→	
	すくすくクラブ	第3金曜10:00~	母子に声かけ	→	→	
	三世代交流昔遊び	年2回部会員・愛育班員が声かけ	未就学児との交流計画	→	→	
健康ポイント制	健康ポイントを周知	ポイント対象検討	検討・実施	→		
愛育班活動 = ゴキブリ団子作り、救急講習、クリスマス会ほか	・男性や高齢者も参加 ・愛育会だより発行 ・声かけを中心に活動	未入会の人でも参加できる行事を計画して会員増加を図る	→	→		



文化的活動で知識の向上と地域の活性化

文化分科会

現代社会はストレス社会とよく言われます。私たち自身の生活が心身とも元気で、豊かになり、地域の皆さんが音楽活動や教養講座、くらしのセミナー講座に興味を持ち、参加することで地域の活性化、連帯感を図ります。

(1) 脳トレのための音楽活動

①現状

* 地域の方々を対象に音楽療法士による音楽活動を実施しています。

参加者は、講師の電子ピアノに合わせて、大きな声を出して歌い、楽器を持ってリズムに乗って、みんな楽しんでいます。(年6回実施)



音楽活動

* 健康ポイント制も導入していますので、常時50人程度の方が参加しています。

②今後の取り組み

* 音楽は、楽しさ・喜び・脳の活性化・ストレス解消に繋がり、参加者全員で合唱しますので、仲間の連帯感ができて、コミュニケーション効果が高まります。今後も音楽活動を継続します。

(2) 教養講座

①現状

* 文化という幅広い枠組みのなか、教養講座名で講演を実施しています。内容は、歴史・人物講座、健康講座、丸亀城の石垣崩落・修復講座などを開催。年3回、各分野の専門講師を招いています。



教養講座「さぬきの古代史」

②今後の取り組み

* 教養講座のテーマや内容などを検討し、健康ポイント制の対象講座として、引き続き参加者の増加を図っていきます。



教養講座「評伝・和田邦坊」

(3) くらしのセミナー

①現状

* 消費生活のトラブルと解決方法、住まいの中の安全対策、電気料金を減らす方法など、私たちの日常生活に密着したテーマで年2回、セミナーを開催しています。毎回、興味を持った多くの方々が参加しています。

②今後の取り組み

* 行政の出前講座を活用して、身近なテーマを取り入れます。健康ポイント制の対象講座として参加者が、多数参加できるように、今後も周知を図り、受講者の増加に努めます。



くらしのセミナー

【文化分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現 状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
文化的活動として知識の向上と地域の活性化を図り、地域の方々が文化事業に参加できるようにしていきたい。	音楽活動	年6回開催	年6回開催 参加者の増加を目指す	➡	➡
	教養講座	年3回開催 歴史・人物 健康・丸亀城の石垣修復等	年2~3回開催 教養講座にふさわしいテーマ	➡	➡
	くらしのセミナー	年2回開催 日常生活の身近なテーマ	年2回開催 行政の出前講座としてセミナーを開催	➡	➡



地域の人々への情報の伝達とコミュニティ活動の周知

広報分科会

地域情報の発信を最重点課題とし、地域の行事や各種の情報、幅広いコミュニティ活動を発信し、地域社会にとって“魅力と活力のあるまちづくり”に関する内容を、広報紙とホームページで紹介してまいります。

(1) 広報紙「ともしび」の発行

①現状

- * 「ともしび」を年4回発行。
- * 「ともしび」の紙面をオールカラーにしました。
- * 「ともしび」を1段32行から29行に、1行13字から11字に減らし、読みやすい紙面にしました。



広報紙「ともしび」

②今後の取り組み

- * 「ともしび」は令和2年7月1日で発刊100号です。同日発行の「ともしび」に、100号記念で2ページの紙面を折り込む準備を進めています。
- * 自治会加入世帯を中心に配布している「ともしび」を、地域の行事で世話になっている自治会未加入の事業所などにも届けるよう検討しています。

③その他

広報紙「ともしび」は現在、編集担当者を中心に、各部会の代表ら7人で毎号の紙面計画の編集会議や、イベント・行事などの取材、写真撮影、原稿の作成、紙面のレイアウトの検討などに取り組んでいます。これからも地域に根ざした情報や親しみやすい身近な話題を取り上げ、心のこもった編集に努め、地域の皆さんが「発行が待ち遠しい」と思ってもらえる楽しい紙面作りをめざします。



編集会議



イベント取材写真撮影

(2) ホームページの作成

* 現状の紙面を踏襲しながら、コミュニティの活動や地域の皆さんに親しまれるような話題を取り上げてまいります。

明るく、住みよい地域を目指し、各種団体・組織が連携して、さまざまな活動を展開しています

城北コミュニティ「明倫の里 城北」

<p>設立趣旨</p> <p>組織</p> <p>活動状況</p> <p>広報紙バックナンバー</p> <p>丸亀市人口・世帯数等の状況</p> <p>平成30年度事業報告</p> <p>令和元年度事業計画</p> <p>平成30年度決算(令和元年度予算)</p> <p>平成30年度事業計画</p> <p>平成30年度予算</p> <p>平成30年度事業報告</p> <p>平成30年度決算</p> <p>平成31年度予算・事業等</p> <p>平成31-32年度予算・決算・事業</p>	<p>新着情報</p> <p>2/1/12 「新春おめでとうウオーク」を実施</p> <p>1/6/5 ■平成30年度事業報告 ■令和元年度事業計画 ■平成30年度決算(令和元年度予算)掲載</p> <p>1/5/29 チャレンジデー(城北地区)開催</p> <p>1/5/26 認知症検診実施</p> <p>31/3/26 ともしび694号掲載 ☆広報紙バックナンバーにも掲載【左記見出し】</p> <p>31/3/23 春のハイキングのご案内(4回) ハイキングに行ってきました</p> <p>31/3/13 城北体育館で防災用簡易トイレを設置体験</p> <p>31/1/15 生涯学習クラブ一覧をリニューアルしました。</p> <p>31/1/15 2019年度城北コミュニティセンター休館日 掲載</p> <p>31/1/15 広報紙「ともしび」694号を掲載しました。</p> <p>30/12/4 城北小学校 避難マニュアルの見取り図をアップしました。(城北防災会「マニュアル」)</p> <p>30/9/29 防災情報(丸亀・香川・気象庁)をリンクしました。</p> <p>30/9/25 広報紙「ともしび」693号を掲載しました。</p> <p>○城北コミュニティ「明倫の里 城北」の平成30年度総会資料を掲載しました。</p> <p>○平成30年度城北コミュニティセンター利用生涯学習クラブ一覧を掲載しました。</p>	<p>城北コミュニティセンター「明倫」</p> <p>事務局 城北コミュニティセンター内 香川県丸亀市御供所町1-5-20 電話・FAX (0877) 25-2141</p> <p>2019年度 休館日</p>
---	--	--

ホームページの 主な内容

- * 城北地区まちづくり計画Ⅲ紹介
- * 丸亀市の人口・世帯数などの状況
- * 生涯学習クラブ一覧
- * 城北防災会・防災関係へのリンク
- * コミュニティセンター休館日

(3) ケーブルテレビへの情報提供

* 中讃ケーブルビジョンを通して地域の皆さんに役立つ情報を引き続き、提供してまいります。

【広報分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標(具体的施策)			
		現状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
地域情報の発信を最重点課題に、地域の行事やコミュニティ活動について幅広い情報を発信し、“魅力と活力のあるまちづくり”を広報紙とホームページで紹介	広報紙「ともしび」の発行	年4回発行	年4回発行 令和2年7月に100号記念特別号発行	年4回発行	➔
	ホームページによる情報発信	随時発信	部会同士の情報交換 各部会の行事報告	➔	コミュニティと住民との情報交換
	中讃ケーブルビジョン(CVC)に情報提供	随時発信	➔	➔	➔



運動やスポーツで「豊かな心」と「健康な身体」

体育分科会

スポーツを見て楽しむこともありますが、やはり競技に参加して初めて知る楽しみや喜びを見つけられます。「生きがいを感じる自己実現」「健康・体力づくり」「仲間との絆づくり」ひいてはスポーツを通しての「まちづくり」を推進していきます。

(1) 高齢者も若者も世代を超えた生涯スポーツの輪を!!

①現状

- *平成28年に城北小学校の新築工事が完了し、体育施設も完備したことで、体育部会の活動も十分にできるようになりました。
- *校庭開放も十分に利用でき、スポーツ少年団・各クラブの活動も盛んになってきています。

②今後の取り組み

- *ウォーキング：新春ウォーキングとして、家族そろっての健康ウォーキングを実施します。
- *ハイキング：桜の季節に家族そろって、大勢が参加できるようなハイキングを企画します。
- *ラジオ体操：子ども会とも連動し、子どもたちの健康維持や健全育成を目指します。2回目は「夏バテ」に負けない体力づくりを考えます。
- *ペタンク：城北地区としては、強化したい種目です。丸亀市体育協会も力を入れており、屋外・室内で取り組みます。どなたでも楽しめる競技です。
- *ボウリング：愛好者は意外と多く、大勢の参加が見込める種目です。今後も大会を続けていきます。
- *バレーボール：城北地区の伝統種目です。年齢別種目もあり、中心は「ソフトバレーボール」に移っています。チームは4人編成で気軽に参加できることもあり、年々盛んになってきています。県・市の大会もあり、精一杯プレーして勝利をめざしてほしい。
- *インディアカ：羽根が付いたボールを打ち合うドイツで考案された競技。城北地区には愛好者も多くいます、地区大会を設け、地域に根付かせます。

以上の種目のほかにも、「実施してはどうか」、「興味がある」、「多くの人の参加が望める」などの競技があれば取り入れます。城北地区は運動・スポーツが楽しめる地域をめざしますので、新種目を含め、意見をお寄せください。



ドッジビーシュート



大縄跳び



東中学校吹奏楽部

【体育分科会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現 状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
運動やスポーツを通して「豊かな心」と「健康な身体」を育む	ウォーキング	新春ウォーキングと「おめでとう」の挨拶の会	➡	➡	➡
	ハイキング	桜の花見兼ね「家族ハイキング」	➡	➡	➡
	ラジオ体操	夏休みに2回実施	➡	➡	➡
	ペタンク	屋外・室内で大会を実施	用具を確保	用具を確保	➡
	ボウリング	30年度から実施	➡	➡	➡
	ソフトバレーボール	ママさん大会を実施	➡	➡	➡
	インディアカ	週1回校庭開放で練習	大会として取り上げる	➡	➡



地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚

自主防災会

近い将来、「南海トラフ巨大地震は必ず発生する」と言われており、その時に備えを今から考えておかなければなりません。毎年のように西日本を襲う梅雨期の豪雨。同じエリアで雨雲が発生し続け、総雨量が増える「線状降水帯」といい、大きな被害をもたらす要因です。決して他人事ではありません。

(1) 自分の命・大切な人の命を守る早めの避難を

- * 城北地区でも、日頃から大雨による土器川の氾濫、清水川や聖池の堤防決壊などによる被害を想定する必要があります。「自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、早め早めの避難」。まず避難を考えることが重要です。
- * 地域の皆さんには、「自分のため」に防災訓練に参加を訴えます。

(2) 全ての対策への対応

①現状

- * 減災・防災対策、自主防災チームづくり、避難態勢の取り方も地域によって差があり、統一的是ではありません。

②今後の取り組み

- * 家具の転倒防止、非常持ち出し袋、備蓄品などについて、各家庭内で話し合う「自助」の部分を指導していきます。
- * 「城北地区も水害の可能性はある」との意識を持つことの大切さを徹底していきます。



令和最初の防災訓練

【自主防災会】

アクションプラン	具体的テーマ	目標（具体的施策）			
		現状	令和2年度	3・4年度	5・6年度
地域住民の災害に対する「危機意識」の高揚	防災面での、「自助」の意識をたかめる	自治会により認識の違いが大きい	早目の避難を訴える	➔	➔
防災チーム作りを進める	自主防災チームの確立	避難所の開設と運営を検討	誰でも避難所を開設できるチーム作り	➔	➔
	安否確認の避難態勢と連絡網確立	自治会により認識の差が大きい	安否確認が取れる態勢作り	➔	➔
	要援護者対策	不安がある	要援護者対策の検討	➔	➔



居住区訓練



炊き出し訓練



女性の和と輪をもって地域に根ざす

城北婦人会

女性ならではの思いやりのある和のころをもって、色々な活動をする中で、会員同士の絆を深め、人々の輪を広げ、住みよい地域づくりをめざします。

①現状

- * 会員数180人。高齢化が進んで会員が減少。
- * 日赤奉仕団として毎年5月の会員募集や9月の敬老会開催。
- * 日帰り旅行や手芸教室、新年会などで会員相互の親睦を図る。
- * 市婦連のリーダー研修や人権研修、その他の講演会に参加。
- * 婦人防火クラブ員として、防火宣伝や住宅用火災警報器の設置促進。
- * 保健部会や愛育班、食生活改善推進協議会と連携した積極的な行事への参加。
- * 防犯パトロールや学校支援ボランティアに参加。
- * 8年目を迎える「しゃんと体操」の取り組み。

②今後の取り組み

- * 若い世代の加入促進。
- * 敬老会開催のあり方を考える。
- * 「しゃんと体操」や「日赤奉仕団活動」を継続する。
- * 保健部会等と連携し、地域の人たちの和と輪を保つ。
- * 防犯パトロールや学校支援ボランティアへの協力。



敬老会



婦人会手芸教室



スワンを飾って幸せに

健康寿命をのぼし 担う地域づくり

城北老人クラブ連合会

高齢化は今後、さらに進む一方で、若年人口は急速に減少するとみられ、地域社会の発展や活力の維持への影響が懸念されています。

このような中で、私たちが健康寿命の延伸に向けて意欲を高めることは、医療、介護サービスの充実や費用負担の軽減、地域共生社会の実現と活力維持に大きく貢献すると思います。老人会のメインテーマである「のぼそう健康寿命 担う地域づくり」をめざします。

①現状

- * 11クラブあり、現在の会員数は536人
- * 毎年2月、友愛で古希・喜寿・傘寿・米寿の方々を慰問、祝い品贈呈。
- * 5月、10月の2回、丸亀城一周の歩け歩け運動を実施。
- * 毎年12月に研修会を開催。
- * 丸亀市老人会連合会に協力。年2回、老人会新聞「ねんりん」を発行。
- * ペタンク大会やボウリング大会、自転車大会などの実施。
- * お城まつりへの参加。

②今後の取り組み

- * 高齢者の社会参加を呼びかけ、仲間づくりの輪を広げます。
- * 介護予防や加齢対策などに取り組み、元気な高齢者をめざします。
- * 友愛活動を基盤に、地域と連携した支援活動に取り組みます。
- * 高齢者の尊厳が守られる諸制度の確立と、地域共生社会の実現。



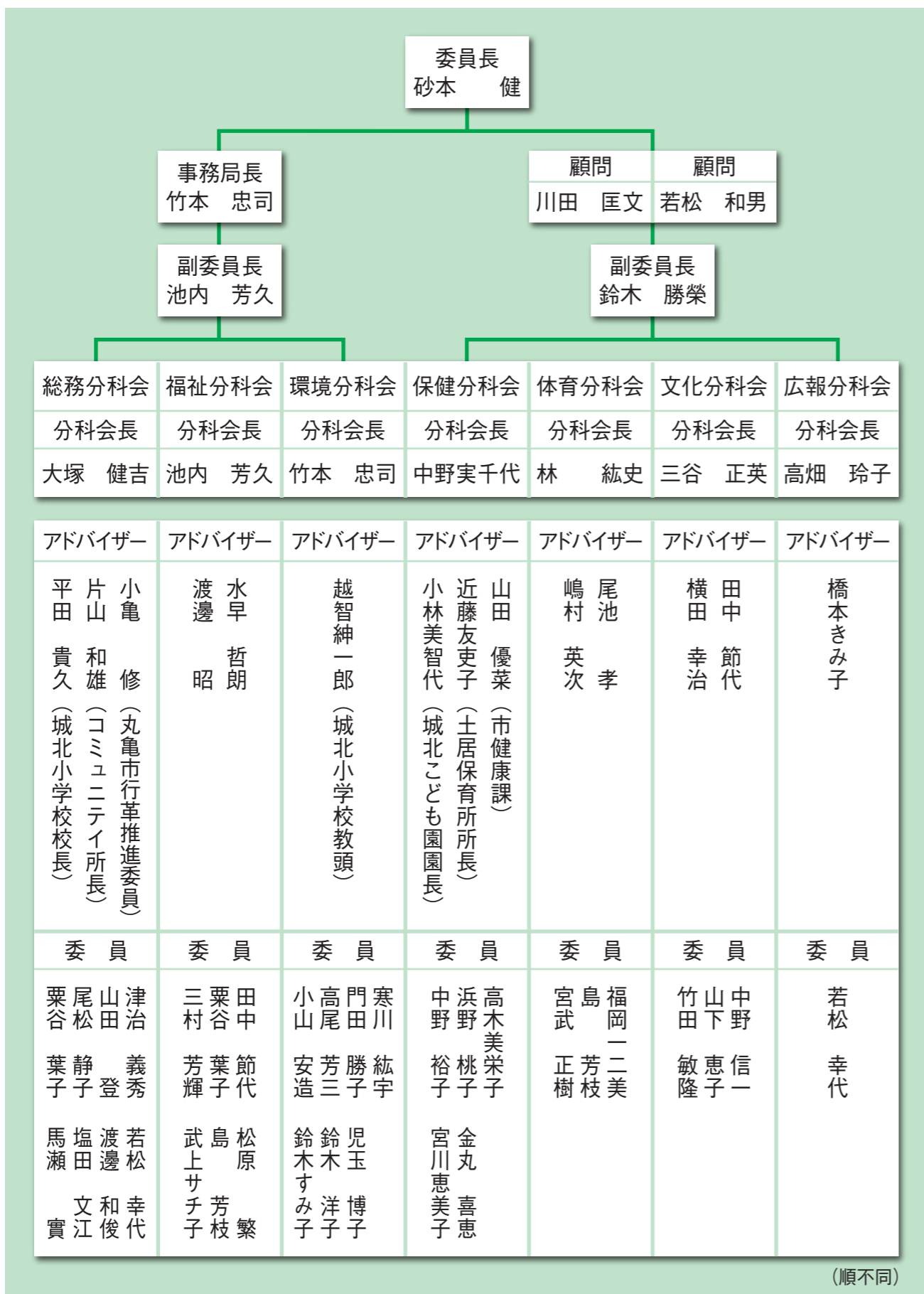
丸亀城周辺での歩け歩け運動



ペタンクを楽しむ皆さん



城北地区まちづくり計画Ⅲ策定委員会組織図



コミュニティ 「明倫の里 城北」 構成団体

- | | |
|-----------------|----------------|
| 城北地区連合自治会 | 城北校区子ども会連絡協議会 |
| 城北婦人会 | スポーツ少年団 |
| 城北地区民生委員児童委員協議会 | 丸亀市立東中学校 |
| 城北老人クラブ連合会 | 丸亀市立城北小学校 |
| 城北地区福祉ママ会議 | 丸亀市立城北こども園 |
| 丸亀市体育協会城北支部 | 丸亀市立土居保育所 |
| 丸亀交通安全協会城北支部 | 丸亀市立城北小学校PTA |
| 城北愛育班 | 丸亀市立城北こども園保護者会 |
| 城北地区社会福祉協議会 | 丸亀市立土居保育所保護者会 |
| 丸亀市消防団第一分団 | 丸亀署土器交番・駅前交番 |
| 丸亀市更生保護女性会 | 丸亀市漁業協同組合 |
| 母子保健推進委員 | 城北コミュニティセンター |
| 食生活改善推進協議会 | |

(順不同)

明倫の里 城北
未来へ向けたまちづくり Ⅲ

令和2年3月発行

発行 明倫の里 城北
城北コミュニティセンター内
〒763-0014
香川県丸亀市御供所町1-5-20
TEL・FAX (0877) 25-2141
